



報道発表資料の配付日時 3月10日(水) 16時00分

発表項目 (行事名)	新型コロナウイルスワクチンに係る高齢者向け接種の先行実施について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○ 4月5日の週から4月19日の週に、国から道へ供給されるワクチン計22箱を配付する市町村を決定しました。 なお、配付に当たっての考え方などについては、別紙のとおりです。</p> <p>【先行実施市町村選定の考え方】 ワクチン接種を感染対策の重要な取組と位置づけ、本道の広域性を考慮し、第2次医療圏単位で先行実施を行うこととする。 実施市町村は、これまでの感染者の発生状況を踏まえるとともに、道との密接な連携が必要であることから、保健所設置市または道立保健所所在地であって、実施までに各種準備が整う市町村を基本とする。</p> <p>【具体的配分方法】 実施市町村に対しては、地区別や高齢者施設ごと、基礎疾患を有する者などの先行実施対象者の選定例を示すこととする。</p> <p>【配付先市町(22市町)】 岩見沢市、滝川市、深川市、札幌市、江別市、小樽市、室蘭市、苫小牧市、新ひだか町、函館市、八雲町、江差町、旭川市、名寄市、富良野市、留萌市、稚内市、北見市、紋別市、帯広市、釧路市、根室市</p>		
参考	<p>4月5日の週: 2箱(約1,000人分)、4月12日の週: 10箱(約5,000人分)、 4月19日の週: 10箱(約5,000人分) 計22箱(約11,000人分) ※4月26日の週: 179箱(約89,500人分) 予定</p>		
報道(取材) に当たって のお願い			
他のクラブ との関係	同時配付 同時レク	(場所)	
担当 (連絡先)	<p>保健福祉部 健康安全局 地域保健課 (担当者: 主幹 小田) TEL ダイヤルイン 011-206-0495</p>		

高齢者向けワクチン接種の先行実施について

4月5日の週から4月19日の週に、本道へ出荷されるワクチン計22箱について、接種の本格実施に向けた体制の構築を目的として、第2次医療圏（21圏域）に各1箱（札幌圏は2箱）を配付する。

【目的】

- 今回の先行実施は、市町村における接種手順の確認や、圏域内の市町村への研修、また、接種システム（V-SYS）の機能確認など、接種の本格実施に向けた体制の構築を目的とする。
- また、先行実施する市町村と連携し、管内の情報共有を行うとともに、各振興局の役割の確認や市町村支援の具体化などを進める。

【先行実施市町村選定の考え方】

- ワクチン接種を感染対策の重要な取組と位置づけ、本道の広域性を考慮し、第2次医療圏単位で先行実施を行うこととする。
- 実施市町村は、これまでの感染者の発生状況を踏まえるとともに、道との密接な連携が必要であることから、保健所設置市または道立保健所所在地であって、実施までに次の準備が整う市町村を基本とする。
 - ・V-SYSへの入力や予約受付に十分な体制を確保できていること
 - ・対象者への接種券の送付が可能であること
 - ・実施医療機関と市町村との契約が締結されていること

【具体的配分方法】

- 実施市町村に対しては、地区別や高齢者施設ごと、基礎疾患を有する者などの先行実施対象者の選定例（※）を示すこととする。

※ 選定例は、専門会議メンバー及び医療関係団体に意見聴取

■本道への出荷数

- ・4月5日の週： 2箱（約1,000人分）
- ・4月12日の週： 10箱（約5,000人分）
- ・4月19日の週： 10箱（約5,000人分） 計22箱（約11,000人分）

※東京都、大阪府、神奈川県は44箱、ほか44道府県は22箱

- ※4月26日の週： 179箱（約89,500人分）予定
- ～4月26日以降の取扱については、国から連絡があり次第、詳細を決定。

■配付先市町（22市町）

岩見沢市、滝川市、深川市、札幌市、江別市、小樽市、室蘭市、苫小牧市、新ひだか町、函館市、八雲町、江差町、旭川市、名寄市、富良野市、留萌市、稚内市、北見市、紋別市、帯広市、釧路市、根室市